

保健 性に関する指導

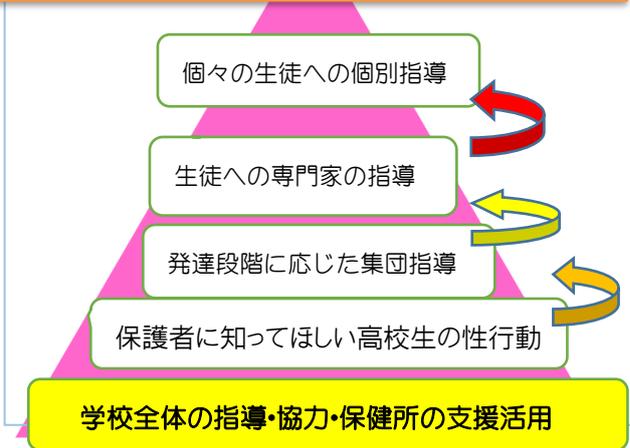
親子で話し合える性指導をめざして

川西高等特別支援学校 養護教諭 井部茂子

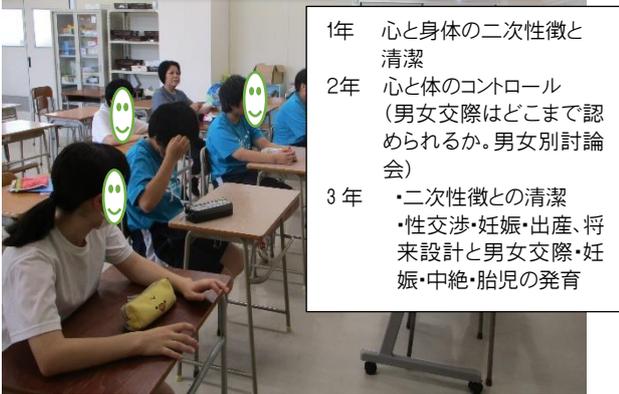
当校の性指導の問題点



性の話を、親子でできる関係作りをめざして



発達段階に応じた性指導



保護者対象講演会

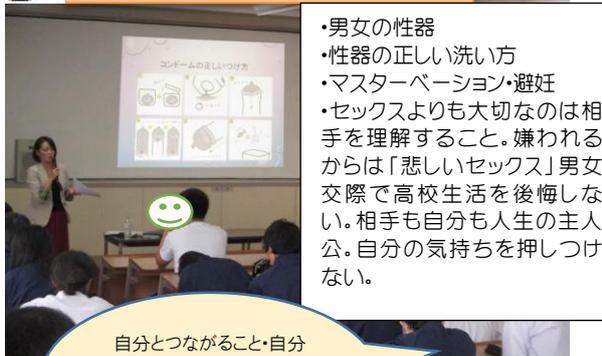


講師 まちなかほけんしつ代表 河井恵美様

大人も知らない自分の身体、異性の身体、大人も間違っている性行動や避妊具の装着。メディア社会の怖さ・高校生の性行動はホップステップ無しのセックス。子どもが困った時、相談できる親子の関係作り・親こそが性は良きこと幸せにつながるとメッセージを発信してほしい。我が子にどこまで教えるかは親が勉強し決めてほしい。



生徒対象講演会



- ・男女の性器
- ・性器の正しい洗い方
- ・マスターベーション・避妊
- ・セックスよりも大切なのは相手を理解すること。嫌われるからは「悲しいセックス」男女交際で高校生活を後悔しない。相手も自分も人生の主人公。自分の気持ちを押しつけない。

自分とつながること・自分の心と身体について知ることが大切だと思いました。(2年女子)

成果と課題

相手の心や身体を大切にすることやつきあい方の約束を守るようにアドバイスしたい。(男子保護者)

・性の悩みは悪いことではない。親子で話し合ってもらってほしいと親に伝えられた。

・性行動や避妊具の講演をしたので、男女交際に悩みトラブルをおこしている生徒に職員が声をかけやすい。

今後の課題

進路先との連携

発達差

